



三富平地林で清々しい空気を吸ってみませんか！

「三富地域の平地林をナラ枯れから守るために」講演会 YouTube動画限定配信

2月2日(水)に、第11回「農」と里山シンポジウムに位置付ける「三富地域の平地林をナラ枯れから守るために」と題した講演会を、ZOOMで開催しました。

行政関係者や県民の方々など約70名の方が参加しました。

講演は、ナラ枯れが起きるメカニズムのほか、「景観整備では平地林は守れない。」「再生の形をどのようにするか展望をもった森林管理を計画すること。」といったお話や、平地林の木材を活用した具体的な取り組み事例の紹介がありました。

参加者からも「たいへん刺激になった。」「わかりやすかった。」などのお言葉をいただいています。

当日参加できなかった方も視聴できるように、**YouTube**でアーカイブ配信します。

埼玉県公式限定公開セミナー動画チャンネル 視聴可能期限令和4年3月31日(木)まで

※限定配信のため、YouTubeの検索にはかかりません。

開会・主催者挨拶(5:39)

【講演①】導入:世界から見た日本の「自然」(17:09)

【講演②】「ナラ枯れ」とは?(17:19)

【講演③】里山林・農用林の生態と管理(19:50)

【講演④】森林の管理方法と資源の「今風」の資源循環を考える(10:54)

【講演⑤】伐りながら森を健康に持続させる3つのステップ(18:18)

【講演⑥】今後の提案(3:33)

質疑応答(15:23)

ご興味のある方は下記のメールアドレスまたは、右二次元コードから、氏名、配信の希望を明記しメールをお送りください。動画URL及び資料をお送りいたします。

メールアドレス: r4218103@pref.saitama.lg.jp



講師: 神戸大学大学院農学研究科森林資源学研究室 黒田慶子教授

- 略歴 1985年より森林総合研究所。2010年より神戸大学森林資源学 研究室教授、日本森林学会の理事と会長を歴任。樹木医学理事。
- 専門 森林病理学、森林保護学、ナラ枯れやマツ材線虫病の発病メカニズムなどミクロな世界を研究する一方で、予防医学の観点から里山や人工林の健康維持に取り組む
- 著書 「森林病理学」朝倉書店(2020)
「ナラ枯れと里山の健康」林業改良普及双書(2008)

「メール」での情報提供を進めています。アドレスを事務局に登録お願いします。

問い合わせ先: 川越農林振興センター管理部 三富農業・地域支援担当

〒350-1124川越市新宿町1-11-17

TEL:049-242-1808 FAX:049-243-7233

e-mail:r4218103@pref.saitama.lg.jp



令和3年度のイベントについて

令和3年度のイベントとして11月10日(土)に「三富地域の平地林散策と『さといも』収穫体験」、11月20日(土)、21日(日)に「第15回さんとの木をいかす展」を開催しました。

三富地域の平地林散策と「さといも」収穫体験

参加者は、平地林(森のさんぽ道)を散策しつつ、植物や昆虫などについて多岐にわたる説明を熱心に聴き、平地林で集めた落ち葉を堆肥化して畑に入れる伝統農法で作られた「さといも」を収穫しました。また、三富地域の平地林の成立の経緯、抱えている問題点なども、担当からお話させていただきました。参加者からは「また、花の咲く時期にここに来てみたい。」、「また、参加したい。」とのお声をいただきました。持ち帰った美味しい「さといも」を食べて、三富地域の応援者となっていただけを願います。



講師の説明を聞く平地林散策の様子



さといもを収穫する様子

第15回さんとの木をいかす展

昨年と同じく、会場の人数を制限するため事前予約制のワークショップをメインに行いました。今年はワークショップの内容も充実させました。グリーンウッドワークの手法を取り入れ、シェービングホース(削り馬)も導入しました。シェービングホースにまたがり熱心に木を削り、作品を仕上げていました。参加した多くの方から、「楽しかった。」「また参加したい。」とのお声をいただきました。また、一つだけでなく、二つ目の作品づくりに挑戦される方もいらっしゃいました。自分で作った作品を大事に使っていただくことで、木が育った平地林に思いをはせていただけることでしょう。



シェービングホースで
木を削っている様子



自然木の表情をそのまま
いかしたスツール作りの様子



人気の高かったスツールの
座編みしている様子



令和4年度もイベントを企画していきます。
皆様のご参加をお待ちしております。

